

高知県の土地改良

発行：水土里ネット高知（高知県土連） 高知市上町2丁目9番12号
会長：桑名龍吾 TEL：088-823-5576 FAX：088-872-5046
印刷：近森謄写堂 高知市本町5-5-18



だるま朝日（土佐市：竜岬沖）

主 な 内 容

◇謹んで新年のお慶びを申し上げます	1
◇年頭のごあいさつ	2～5
◇「農業農村整備の集い」の開催	6
◇令和4年度 農業農村整備予算の確保について要請活動を実施	7
◇令和4年度 農業農村整備事業関係予算概算決定の概要	8
◇ふるさと探訪「鎌田井筋めぐり」	9
◇「令和3年度 多面的機能支払交付金の実施に係る技術研修会」の開催	10
◇令和3年度 全国町村下水道推進協議会高知県支部及び高知県農業集落排水事業推進協議会研修会	11
◇「令和3年度 土地改良区等役職員研修会及び換地計画実務研修会」の開催	12
◇「令和3年度 複式簿記導入促進特別研修」の開催	13
◇「水土里情報システム操作研修会」の開催	13
◇全国土地改良事業団体連合会長表彰（山田堰井筋土地改良区理事長）	14
◇「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2021	14
◇土地改良施設維持管理適正化事業の拡充について	15
◇土地改良区役職員のみなさまへ	16

謹んで新年のお慶びを申し上げます

水土里ネット高知（高知県土地改良事業団体連合会）

令和4年1月1日現在

会 長	桑 名 龍 吾	（学識経験者・高知県議会議員）
副 会 長	大 野 哲	（高知市東部土地改良区理事長）
副 会 長	池 田 洋 光	（中土佐町長）
常務理事	釣 井 利 勝	（学識経験者）
理 事	横 山 幾 夫	（安芸市長）
〃	大久保 暢 夫	（栃ノ木堰土地改良区理事長）
〃	平 山 耕 三	（南国市長）
〃	和 田 守 也	（土佐町長）
〃	板 原 啓 文	（土佐市土地改良区理事長）
〃	池 田 三 男	（津野町長）
〃	中 尾 博 憲	（四万十町長）
〃	中 平 正 宏	（四万十市長）
〃	中 平 富 宏	（宿毛市長）
代表監事	楠 瀬 耕 作	（須崎市長）
監 事	植 田 壯一郎	（室戸市長）
監 事	濱 田 精 一	（四万十市入田土地改良区理事長）

外 職 員 一 同

高知県農業農村整備事業推進協議会	会 長	板 原 啓 文	（土佐市長）
高知県農業集落排水事業推進協議会	会 長	池 田 牧 子	（いの町長）
高知県多面的機能支払推進協議会	会 長	釣 井 利 勝	（県土連常務理事）

年頭のごあいさつ



水土里ネット高知
 (高知県土地改良事業団体連合会)
 会長職務代理者
 副会長 池田 洋光

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様方には、輝かしい新年をお迎えになったことと、心からお慶び申し上げます。また、平素より農業農村整備事業の推進並びに水土里ネット高知の運営にあたりまして、格別のご支援・ご協力を賜り、心より厚く御礼を申し上げます。

昨年は、一昨年来の新型コロナウイルス感染症への対応に明け暮れた一年でありました。本年においても新たな変異株への対応と第6波の感染に備えなければならない一年になりそうです。

さて、農業・農村においては、農業従事者の減少、高齢化、担い手不足等による農地の荒廃で、農地や農業用水の管理に支障が生じることで、営農の継続が困難になるとともに、全国的な米価下落の影響により農家経営の悪化が懸念されるなど、様々な課題に直面しています。

農業農村整備は、国の政策課題への対応において重要な役割を果たしており、国内外の競争に打ち勝つことができる持続可能な強い農業の実現のためには、農地の大区画・汎用化、水田の畑地化の整備、農業水利施設等の維持・更新が必要です。

加えて、激甚化する災害にも負けない国土強靱化対策の推進が急務となっています。

また、農業の成長産業化のためには、担い手への農地集積やICTを活用したスマート農業の普及等、戦略的推進とともに土地改良事業の計画的・安定的実施が必要不可欠であります。

このような状況を踏まえ、農地中間管理機構と連携した農業者の費用負担を求めない農地整備事業や、ため池等の耐震化を迅速に進める事業等が創設されるとともに、土地改良区の運営基盤の強化を図る見直しが講じられたところであります。

一方、昨年末に令和3年度補正予算と令和4年度当初予算の農業農村整備事業費、政府原案が閣議決定され、令和4年度当初予算4,468億円、令和3年度補正予算1,832億円を合わせて6,300億円を確保することができました。

これからも農業・農村施策の改革の加速化を図るため、また、地域の要望を十分に満たすだけの予算額を当初で確保できますよう、引き続き関係方面へ要請して参りたいと思います。

水土里ネット高知では、これまで培ってきた経験と技術を活用し、国が目指すべき方向の実現に向け、会員ならびに関係機関とより密接な連携を図っていく所存でございます。

最後になりましたが、皆様方のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げ、年頭のご挨拶と致します。

年頭のごあいさつ



全国水土里ネット
(全国土地改良事業団体連合会)
会長 二階俊博

令和4年の年頭に当たり、土地改良に携わる全国の皆様に、謹んで新年のご祝詞を申し上げます。新型コロナウイルスの感染が世界各国で拡大する中で、新しい年を迎えることとなりました。我が国では、ワクチン接種が進み感染者数は減少しているものの、世界的には変異株の感染が拡大し予断を許さない状況が続いております。

皆様には、感染防止のためにできることを今一度ご確認いただき、コロナ禍を共に乗り越えて頂きたいと願っております。

さて、昨年3月に新たな土地改良長期計画が策定され、3つの政策課題に取り組むこととされました。生産基盤の強化による農業の成長産業化、多様な人が住み続けられる農村の振興、農業・農村の強靱化といった政策課題に対して具体的な施策が定められ、中でもスマート農業実装の加速化、ため池の防災対策の集中的かつ計画的な推進、流域治水の推進は、今後の農業農村整備を進める上で大事な要素となってくるものです。

令和4年度予算につきましては、これらの政策課題の解決に向け、農業農村整備の着実な推進を求める全国の皆様からの熱意ある要請活動により、政府予算案において、4,468億円を確保することができました。この結果、令和3年度の補正予算を含めると6,300億円となります。

皆さまの活動に深く敬意を表しますと共に、心から御礼を申し上げます。

一方、第5次男女共同参画基本計画に続き土地改良長期計画においても土地改良区等の女性理事登用が成果目標とされたところであり、我々、土地改良団体においても将来の組織体制強化のためにも、女性参画を進めていかなければなりません。

私たち土地改良に携わる者としましては、政府の動きと軌を一にして、これまで培ってきた技術と蓄積された経験を活用し、「闘う土地改良」を活動の基本におき農業農村の振興に積極的に貢献していくことが重要であると考えております。また、農業農村の維持、発展に大きく貢献していることについて広く国民の皆様にもアピールし、共感を得ていく努力も必要であります。皆様と一体となって取り組み、所期の成果が得られますよう引き続き奮闘して参りたいと思います。

また、土地改良の代表として進藤金日子参議院議員と宮崎雅夫参議院議員が元気に全国を飛び回り、まさに「車の両輪」となって活躍されています。本年は進藤さんの2回目の闘いとなりますが、今後は、進藤さん、宮崎さんの活動と連携して、更に一層「闘う土地改良」の浸透が図られるよう念じております。

最後になりますが、輝かしい年の初めに当たり、本年も皆様各々の地域において更に農業農村が活力を得て、一層発展しますようご期待申し上げますとともに、新型コロナウイルスの不安が払拭され、本年が全国の皆様にとってよき年であり、日々健やかに過ごされますようご祈念申し上げます。私の新年のご挨拶といたします。

年頭のごあいさつ



全国水土里ネット会長会議顧問

 しん どう かね ひ こ
 参議院議員 進 藤 金日子

明けましておめでとうございます。

旧年中は、高知県の皆様には大変お世話になり感謝申し上げます。本年も何卒宜しくお願い致します。

私も皆様にご支援をいただき国政に送り出していただいてから、早5年半が過ぎました。土地改良予算の動向を報告し、私なりの政治スタイルを再確認しながら次のステップを展望してみたいと思います。

昨年末には、令和3年度補正予算が臨時国会において可決、成立しました。土地改良予算は、総額1,832億円（TPP等対策：774億円、米対策：46億円、国土強靱化5か年加速化対策：1,012億円）です。令和4年度当初予算政府原案での土地改良予算は4,468億円（令和4年度からデジタル庁計上となる政府情報システム予算を含む。）であり、令和4年度の予算額は補正と当初を合わせて6,300億円となり、本年度と同水準の予算が確保できる見通しとなりました。

主な事業制度の新規・拡充事項としては、①農家負担がゼロの「農地中間管理機構関連農地整備事業」の工種に農業水利施設や農道、暗渠排水等を追加（現在は区画整理と農地造成のみ）、②「農地耕作条件改善事業」の助成対象に田んぼダム導入に係る調整活動や畦畔補強等とともに除草機器を追加、③省エネ化・再エネ利用に取り組む「かんがい排水事業」の事業費要件や末端要件を緩和、④「土地改良施設維持管理適正化事業」に「防災減災機能等強化対策」（防災・減災機能の強化、施設管理の省エネ・再エネ利用や省力化を図るための施設整備）を新設（国費率を従来の30%から50%に嵩上げ）、⑤「土地改良区体制強化事業」の助成対象に小規模土地改良区の業務再編を追加することなどが挙げられます。

私は、これまで全国津々浦々を訪問し、現場の実情を視て、現場の声を聴いて、それらを国政の場に届け、課題解決の実現に努めて参りました。私自身、現場目線、国民目線での政治こそが、いま強く求められていると痛感しています。こうした活動が事業制度の新規・拡充要求に繋がっているものと確信しています。高知県内にも度々訪問し、色々なご指摘や多くの要請をいただきました。こうした現場の声を真摯にお聴きし、改善できるものはすぐに改善し、事業制度の新規・拡充に繋げる必要があるものは次年度の予算要求に反映できるように更に努力して参ります。

全国各地の農業・農村は多様であり、それ故に各種要請の内容も多様です。引き続き同志の宮崎雅夫議員と力を合わせ、必要な予算の確保とともに、現場の課題解決に直結する制度構築等に全力で取り組んで参ります。今後とも、これまでの政治スタイルとスタンスを変えることなく、泥臭く鈍重でも、急峻な斜面を一步一步踏み締めて前進する牛のように精進し、現場が抱えている課題を一つでも多く解決できるように結果を出して参る所存です。

皆様からお預かりした参議院議員の任期も残すところ7か月余りとなりましたが、まずは貴重な任期を一日たりとも無駄にすることなく政治活動に全力投球して参ります。そして、次のステップに進むためには改選という高く厚い壁を超えなければなりません。私自身、この壁の突破に専心努力して参る覚悟ですので、皆様の引き続きのご指導とご支援を心からお願い申し上げます。皆様の益々のご健勝とご活躍を心からお祈りいたしております。

年頭のごあいさつ



全国水土里ネット会長会議顧問

みや ざき まさ お
参議院議員 宮 崎 雅 夫

高知県土地改良事業団体連合会会員ならびに関係の皆様にご挨拶を申し上げます。旧年中は多大なるご支援とご指導を賜り衷心より感謝申し上げます。

昨年10月発足の岸田内閣ならびに11月の第二次岸田内閣において、農林水産大臣政務官を拝命しました。これも偏に高知県の皆様と、進藤金日子参議院議員はじめ先輩国会議員のご指導とご支援によるものであり、本年も新たな気持ちで現場主義に徹しつつ皆様のご意見をお伺いしながら一層努力して参る所存ですので、引き続きご指導をお願いいたします。

さて、ここ2年に亘り農林水産業はじめ各方面に影響を及ぼしてきた新型コロナウイルス感染症は、国民の皆様のご協力により、昨秋以降の新規感染者数は低位に推移していましたが、新たな変異株による感染が再び全国に広がるのが懸念される昨今の状況からは決して油断することはできません。

経済安全保障の重要性が叫ばれる中、食料の多くを輸入に頼る我が国にとって食料安全保障の確立は重要であり、そのためには我が国の農林水産業の持続的発展が不可欠です。

こうした中、昨年末には、令和4年度当初予算案が閣議決定され、また、臨時国会で令和3年度第1次補正予算が成立し、農業農村整備事業関連予算として総額6,300億円を確保することができました。

令和4年度当初予算案では、前年度当初を上回る4,468億円を確保し、農地の大区画化、水利施設の老朽化対策等を推進することとしています。また、令和3年度補正予算では、TPP対策や防災・減災、国土強靱化の加速化対策として1,832億円が計上されており、全国の皆様のご要望にしっかりと応え得る規模となっています。

また、これから国会で議論される令和4年度当初予算案に関連して、土地改良法の改正案を検討することとしており、主な事項としては、ため池等の急施の防災事業に豪雨対策を加えること、農地中間管理機構関連農地整備事業の対象に農業用水路等を加えること、市町村や土地改良区が実施する防災対策事業への土地改良事業団体連合会による技術的支援等を可能とすること、また、組織の維持が困難となった小規模土地改良区について、法人格を維持しながら認可地縁団体等に移行できる規定を設けることなどが予定されています。予算と制度が車の両輪となって土地改良の効果がしっかりと発現できるよう、引き続き進藤金日子議員とともに頑張る所存です。

これからも皆様とともに土地改良を推進するため、進藤金日子議員と一緒に国政で取り組んで行けるよう、高知県の皆様の格段のご支援をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様お一人おひとりご家族にとって素晴らしい一年となりますよう祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願いいたします。

「農業農村整備の集い」の開催 —農を守り、地方を創る予算の確保に向けて—

令和3年11月16日（火）、東京都千代田区・砂防会館別館「シェーンバッハ・サボー」において、「農業農村整備の集い」が開催され、コロナ禍の中、農業農村整備関係者約600名が参集した。農林水産省からは金子 原二郎農林水産大臣、武部 新農林水産副大臣、宮崎 雅夫 政務官をはじめ、牧元 幸司 農村振興局長ほか幹部職員や、自民党の森山 裕 TPP・日EU・日米TAG等経済協定対策本部長、公明党の石井 啓一 幹事長が出席した。

開会にあたり、全国水土里ネット 二階 俊博 会長は、「新型コロナウイルス感染症が未だ大きな脅威となっているが、ここにお集まりの皆さんがこれまで培ってきた技術や経験を最大限に発揮し、農家の方々に期待を持って働けるような環境をつくるため、我々は一致団結して闘っていかねばならない。」と『闘う土地改良』を強く訴えた。また、本年度から本格的に進めている土地改良区等での男女共同参画について、土地改良団体の活性化のためにも取り組んでいただくようお願いがあった。最後に、「来年は進藤金日子君の2回目の選挙になるので、名実ともに『闘う土地改良』の意識を強く持って、予算の確保とともに、進藤金日子君の活躍をバックアップしていこうではないか。『闘う土地改良』は今年も限りなく続く。皆様方の更なるご尽力をお願いします。」と挨拶された。

続いて、金子農林水産大臣は、「農業農村整備事業は、農地や農業水利施設といった農業にとって必要不可欠な生産基盤を整備する事業であり、農村地域の安全・安心な暮らしを実現するうえで、大変重要な事業である。農林水産省は、農業の競争力強化や農村地域の国土強靱化を図るための農業農村整備を、全国の土地改良関係の皆様方とともに、引き続き、しっかりと推進していく。」と祝辞を述べられた。

全国水土里ネット会長会議顧問の進藤 金日子 参議院議員は、「土地改良に関する期待は年々高まっていると感じている。農業政策、地域政策そして国土政策、それぞれにおいて土地改良は少しウイングを広げながら、皆様方は本当に忙しく大変な時期であるが、この政策の実現に率先して取り組むのが土地改良の役割である。予算の確保はあくまで手段である。この事業をやって、この手段においてその地域や農業が良くなっていく、その効果をしっかりと国民の皆様方に説明し、ご理解を得る中で、さらに安定した予算の確保を図っていく。」と力強く述べられた。

集いでは、『土地改良事業の計画的・安定的な推進のため、現場のニーズに応えられるよう、必要な予算の確保』ほか10項目の要請案文が全会一致で採択され、参加者一同によるガンバロウを拍手で三唱し閉会した。



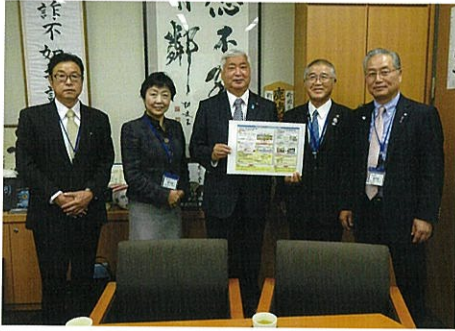
全国水土里ネット 二階 俊博 会長より開会挨拶



全国水土里ネット会長会議顧問
進藤 金日子 参議院議員による祝辞

令和4年度 農業農村整備予算の確保について要請活動を実施 (農業・農村を支える基盤整備事業の推進について)

令和3年11月15日(月)・16日(火)に高知県農業農村整備事業推進協議会(会長 板原 啓文(土佐市長))、高知県農業集落排水事業推進協議会(会長 池田 牧子(いの町長))、高知県土地改良事業団体連合会(会長職務代理者 副会長 池田 洋光)は高知県の協力のもと、農業・農村を支える基盤整備事業の推進のため、令和4年度の農業農村整備事業予算の確保について、財務省、農林水産省、県選出国議員に対し要請活動を行った。



中谷 元 衆議院議員



山本 有二 衆議院議員



尾崎 正直 衆議院議員



安部 伸治 農村振興局次長

要請内容

1. 農業競争力を強化するための基盤整備予算の確保

担い手への農地集積・集約化や高収益作物への転換等により農業の体質を強化し、地域で暮らし稼げる農業を展開するために、農業全体を下支えする基盤整備の予算を十分に確保することを要請します。

2. 農村地域の防災・減災対策をさらに加速化するための予算の確保

南海トラフ地震対策や豪雨対策としてのため池改修など、農村地域の防災・減災対策を着実に推進するために、「農村地域防災減災事業」の予算を十分に確保することを要請します。

要請者

高知県農業農村整備事業推進協議会

会長(土佐市長) 板原 啓文

高知県農業集落排水事業推進協議会

会長(いの町長) 池田 牧子

高知県土地改良事業団体連合会

会長職務代理者

副会長(中土佐町長) 池田 洋光

令和4年度 農業農村整備事業関係予算概算決定の概要

政府は令和3年12月24日、令和4年度当初予算政府案を閣議決定した。

農業農村整備事業費においては、令和4年度に執行可能な予算として、補正予算と当初予算を合わせ6,300億円（当初予算対前年比23億円増）を確保できた。

厳しい財政事情の中で、諸課題の解決に必要な予算を確保できたのは、偏に関係者の皆様の強い要請と熱意を政府と与党にしっかりと受け止めていただいた結果だと思われる。

令和4年度当初：4,468億円 + 令和3年度補正：1,832 = 6,300億円

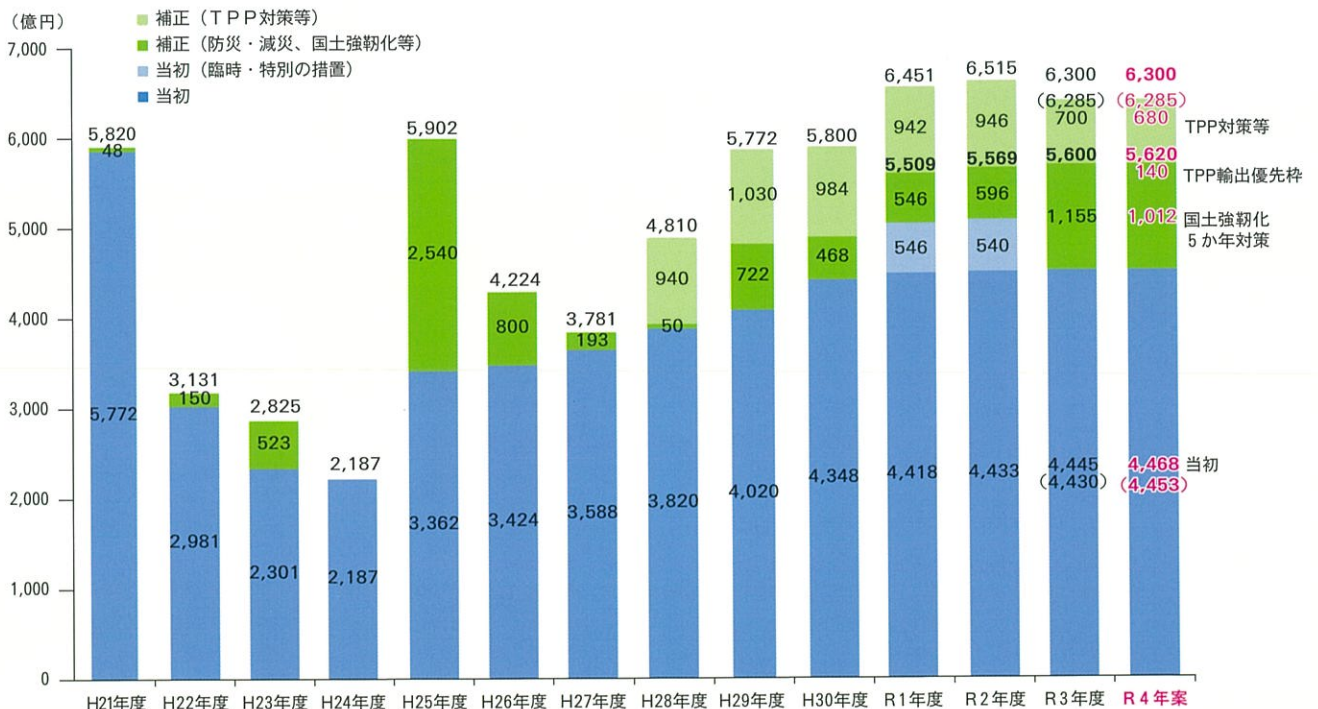
農業農村整備事業関係予算

(単位:億円)

	令和3年度	令和4年度
合 計	6,300	6,300
当初予算	4,445	4,468
補正予算	1,855	1,832
①防災・減災、国土強靱化のための5か年加速対策	1,155	1,012
②TPP対策	700	774
③米の臨時特別対策		46

注：デジタル庁計上の政府情報システム予算を除いた計数は、両年度とも6,285億円。

農業農村整備事業関係予算の推移



注：R3及びR4の下段()書きは、政府情報システム予算15億円を除く。

ふるさと探訪「鎌田井筋めぐり」

令和3年9月から10月にかけて、土佐市の9校の小学校4年生を対象に、「土佐市の暮らしを支えてきた鎌田井筋の歴史や役割を理解し、ふるさとの自然（水）を大切にする心を育む」ことをテーマとして、鎌田井筋の探訪学習が行われた。

土佐市教育研究所の主催で、水土里ネット土佐（土佐市土地改良区）の協力のもと、鎌田井筋の歴史や農業用水の役割について説明があり、児童たちは現地学習で水の大切さや役割について学び、鎌田井筋が土佐市の生活になくてはならない、大切な施設であることを強く意識する良い機会になった。

鎌田井筋めぐりの日程表

9月22日	高岡第一小学校 1組	10月8日	波介・北原・戸波小学校
9月24日	高岡第一小学校 3組	10月13日	高岡第二小学校
10月5日	高岡第一小学校 2組	10月18日	蓮池小学校
10月6日	宇佐小学校	10月28日	新居・高石小学校

探訪学習の行程



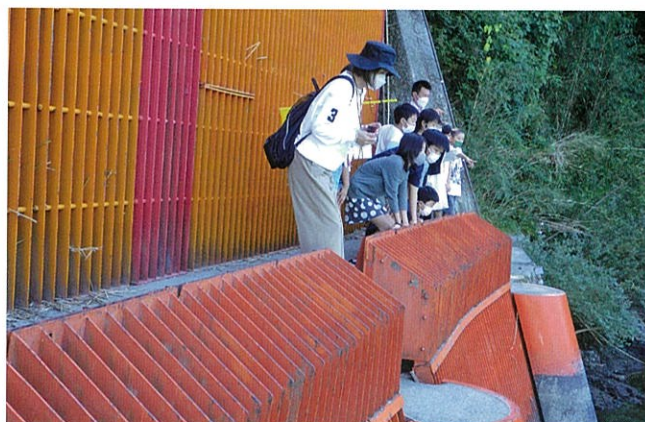
八田堰にて堰の製作について説明する土佐市教育研究所職員



児童らによるレベル観測
(昔は提灯やろうそくを利用して高低差の測量を行った)



日高村立石取水操作室にて操作説明する
水土里ネット土佐 一森 主事



立岩取水ゲート

「令和3年度 多面的機能支払交付金の実施に係る技術研修会」の開催

日時：令和3年10月27日（水） 13時30分～（のべ5日間）

場所：須崎・幡多・中央西・安芸・中央東（県内5ブロック）

県内5ブロックにおいて、活動組織、市町村担当者を対象として、「令和3年度 多面的機能支払交付金の実施に係る技術研修会」を開催し、237組織の代表者、22市町村の担当者が参加した。

事務・組織運営等に関する研修、機械の安全使用に関する研修、また、機能診断・補修技術等に関する研修を5年間に1回以上実施する必要があることから、中国四国農政局 農村振興部 農地整備課 多面的機能支払推進室の楠瀬室長ほかの講師から、「多面的機能支払交付金の活動における留意点について」、「農業用水路の機能診断・補修技術について」等の説明を受けた。目地補修では、屋外においてU字溝を使い、補修の技術を学んだ。参加者からは、「事業のお陰で地域の環境整備ができ、大変助かっている。」、「まだまだコンクリートの水路も少なく、整備も急がねばならない。」との声があった。



技術研修の留意点を述べる
県農業振興部 農業政策課 佐藤 主幹



研修会の様子



屋外で補修実技をする参加者
（バックアップ材の装填）



屋外で補修実技をする参加者
（コーキング材の充填）

令和3年度 全国町村下水道推進協議会高知県支部 及び 高知県農業集落排水事業推進協議会研修会 「徳島県佐那河内村 先進地視察研修」

日時：令和3年11月26日（金）11時30分～14時

場所：徳島県佐那河内村

町村下水道事業及び農業集落排水事業に携わっている市町村担当職員と、水土里ネット高知職員の総勢19名が、今後県内の市町村に於いて懸念される維持管理費の増大や、老朽化による処理施設機能低下対策等に向けての先進地視察研修を徳島県佐那河内村にて行った。

一昨年度より村が取り組んでいる（一社）地域環境資源センターによる、農業集落排水施設の汚泥とバイオマス資源（生ごみ等）を活用した小規模メタン発酵システムの実証による、維持管理コストとエネルギー利用、廃棄物処理、液肥利用等の効果等について、また、平成27年度より農業集落排水施設の電気代等に充当されている農業用水を有効利用した小水力発電施設について研修した。

参加者からは、日頃の業務ではなかなか体験や学習できない事で参加して良い研修ができた等の声が聞かれ、今後の実務に役立つ研修会となった。



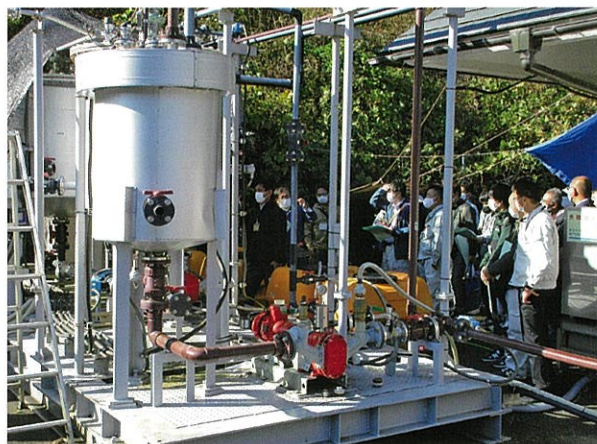
佐那河内村 小原副村長による歓迎挨拶



高知県農業集落排水事業推進協議会
（いの町）川村課長による挨拶



地域交流拠点「新屋」での研修



小規模メタン発酵実験プラントを見学

「令和3年度 土地改良区等役職員研修会及び換地計画実務研修会」の開催

日時：令和3年11月19日（金）9時30分～16時30分

場所：高知県立県民文化ホール 第6会議室

高知県民文化ホールにおいて、県職員や会員である市町村職員及び土地改良区役職員等34名の参加のもと、「令和3年度 土地改良区等役職員研修会及び換地計画実務研修会」を開催した。

近年、農業従事者の後継者不足、都市化の進展に伴う集落機能の低下、農業構造改革の加速化等、農業をめぐる課題が山積する中、こうした課題に対応するため、土地改良区への複式簿記の導入の推進や、土地改良法の改正、また、民法並びに不動産登記法の改正等が検討されるなど、新しい動きも出てきている。

このため、基盤整備事業に不可欠な換地計画の実務に関する技術力向上の強化を図ることを目的とした講義が行われ、参加者一同が熱心に受講した。



研修会の様子

研修科目・講師

研修科目	講師
複式簿記について	松岡宣明税理士事務所 税理士 松岡 宣明
民法（相続について） 代位登記申請書作成について	高知地方法務局登記部門 表示登記専門官 長山 幸弘
換地を取り巻く状況について	中国四国農政局農村振興部土地改良管理課 行政専門員 伊藤 秀之
土地改良区の監査実務について	全国土地改良事業団体連合会 支援部長 市村 和寿
農業基盤整備資金について	日本政策金融公庫 高知支店 融資課 長野 快斗



水土里ネット高知
釣井 利勝 常務理事による開会挨拶



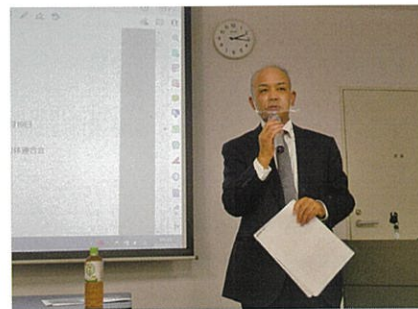
松岡 宣明 税理士による講演



高知地方法務局登記部門
長山 幸弘 表示登記専門官による講演



中国四国農政局 土地改良管理課
伊藤 秀之 行政専門員による講演



全国水土里ネット
市村 和寿 支援部長による講演



日本政策金融公庫高知支店
長野 快斗 融資担当による講演

「令和3年度 複式簿記導入促進特別研修」の開催

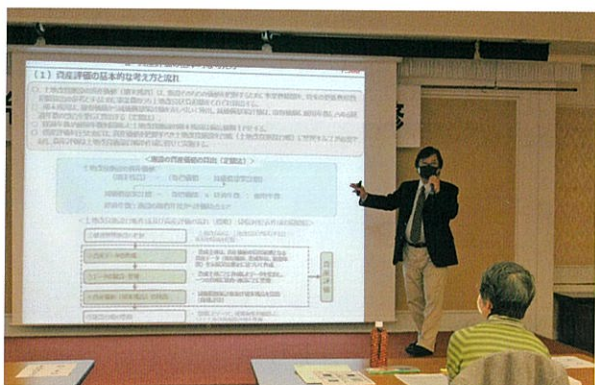
日時：令和3年12月13日（月）10時～16時

場所：高知会館

高知会館「白鳳」において、「令和3年度 複式簿記導入促進特別研修」を開催し、土地改良区職員や県、市町村職員の担当者39名が本研修を受講した。

本研修は、土地改良法の改正に伴い、令和4年事業年度から原則、全ての土地改良区を対象に貸借対照表の作成が義務化されることに伴い、複式簿記への円滑な移行を支援する目的で開催されている。

カリキュラムに沿って講義が行われたが、質疑の時間がとれなかったため、質問票に記入した質疑事項に対し後日回答するなど、複式簿記への移行に向けた具体的な作業について理解を深めた。



全国水土里ネット 田中 克哉 支援部主幹による講演



研修会の様子

「水土里情報システム操作研修会」の開催

日時：令和3年12月21日（火）・22（水）10時～

場所：高知県土地改良会館

本会は、「農地地図情報システム運用保守管理業務」の一環として、水土里情報システムの操作方法等の研修会を、2日間3回に分けて行った。

研修会では、水土里情報システムを利用して経営所得安定対策における作付農地の確認、中山間直接支払交付金の傾斜角の測定、多面的機能支払交付金の協定地区の確認等を行うための基本操作や情報登録等について指導をした。

参加した市町村の担当者は、実際にシステムを使用したり演習を交えながら、様々な機能と運用方法について学んだ。



研修会の様子

全国土地改良事業団体連合会長表彰 (山田堰井筋土地改良区理事長)

去る令和3年10月6日(水)、第43回全国土地改良大会が群馬県で開催され、開催県以外の参加者は、YouTubeにおいて大会を視聴した。土地改良事業功績者表彰では、本県から山田堰井筋土地改良区 新谷正雄理事長が、全国土地改良事業団体連合会長表彰を受賞された。

新谷理事長が務める山田堰井筋土地改良区は、高知県のほぼ中央、高知市の東方約15kmの地帯を南下する物部川より取水し、受益区域は香美市、南国市、高知市の3市に亘り受益面積1,364ha、組合員数2,864人と県下最大の土地改良区である。管理する物部川合同堰は、県営事業「物部川地区かんがい排水事業」により昭和48年3月に造成され用排水路40km、水門100箇所により受益区域内に配水する基幹施設としての役割を担っている施設である。新谷氏が理事に就任した当時、既に供用開始後40年が経過しており、老朽化が進み、維持管理や補修に係る費用、労力が増大するとともに突発的な事故の可能性も危惧されていた。そのため、各関係機関との協議や調整を諮り、県営事業として改修工事が実施され、施設の機能維持と安全性を確保することが出来た。

さらに近年、宅地化や高齢化により農地の減少が進み、改良区運営の基となる賦課金収入が減少するなか、施設の老朽化により維持管理費は増加傾向にあった。何かできないかと模索していた際、再生可能エネルギーによる売電収入を施設の維持管理費に利用できることとなり、分水工の落差を利用した小水力発電に着目。氏は、土地改良区運営の健全化、将来の組合員負担軽減を目指し、導入に向け卓越した手腕を発揮し、県内では初となる農業用水利施設を利用した小水力発電の運転開始に寄与した。

氏の姿勢は、組合員、地元住民のみならず関係機関からも高い信頼を得ており、土地改良事業の推進及び農業振興へ貢献した功績は極めて顕著であり、常に先を見通し考え行動する力は、今後ますますの活躍が期待される。



新谷 正雄理事長(右)と本会鈞井常務理事

新発見！わたしたちのふるさと自慢

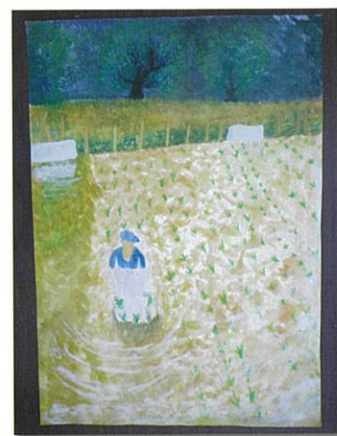
「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2021

今年度22回目を迎える「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2021に、全国各地の子ども達より4,120点の応募作品が寄せられ、作品の中から入賞6点、企業賞27点、入選150点、地域団体賞45点を決定した。

本絵画展は、「子供達に農村の自然、風景、伝統文化、更に農業用水路などの施設に興味をもってもらい、農業や環境を守ることの大切さに理解を深め、その思いを大人達に届ける」ことを目的として毎年開催されている。

本県においては、地域団体賞「水土里ネット高知会長賞」を、日高村立日下小学校5年生 大藤小雪さんが受賞された。

水土里ネット高知会長賞



日高村立日下小学校 5年生 大藤 小雪さんの作品
「おじいちゃんの田んぼ」

土地改良施設維持管理適正化事業の拡充について

令和4年度より、国土強靱化・グリーン・デジタルといった政策課題に対して、小規模な土地改良施設に係る防災・減災、省エネ化・再エネ化、省力化のための整備を促進するため、「防災減災機能等強化対策」が創設されます。

土地改良施設維持管理適正化事業（公共）

<対策のポイント>

農業水利施設の定期的な修繕・補修や防災減災等のための緊急性の高い施設整備を推進します。

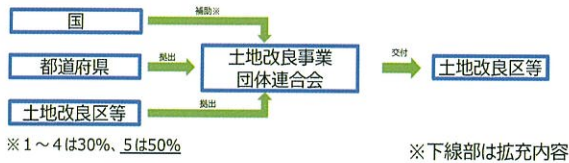
<事業目標>

- 安定的な用水供給と良好な排水条件を確保
- 漏水被害等が防止される農地及び周辺地域の面積（21万ha〔令和7年度まで〕）

<事業の内容>

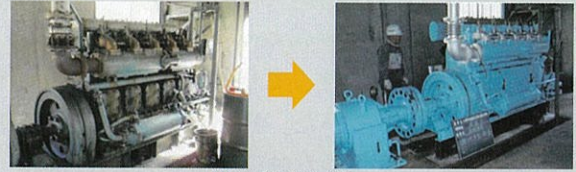
1. **施設整備補修**
施設の機能保持、耐用年数の確保のため必要となる修繕・補修（原動機等のオーバーホール、用排水路の修繕・補修等）
2. **施設改善整備対策**
水田地域において高収益作物を導入し、産地形成を図るために必要な整備補修（漏水防止のための水路整備等）
3. **安全管理施設整備対策**
農業水利施設への転落事故を防止するための安全管理施設（フェンス、通行止門扉等）の整備
4. **緊急整備補修**
予測し得ない事故等により緊急に必要となる整備補修
5. **防災減災機能等強化対策**
防災・減災対策、施設管理の省エネ化・再エネ利用や省力化のための施設整備（ため池や排水機場等の整備、高効率モータへの更新、遠隔制御機器の導入等）

<事業の流れ>



<事業イメージ>

施設整備補修



原動機の分解補修、塗装

防災減災機能等強化対策



土地改良施設維持管理適正化事業の拡充

- 国土強靱化・グリーン・デジタルといった政策課題に対応して、小規模な土地改良施設に係る**防災・減災、省エネ化・再エネ利用、省力化**のための整備を促進するため、「**防災減災機能等強化対策**」を創設
- 5年1期の頼母子講の仕組みの下で、「防災減災機能等強化対策」による施設整備を任意の時期に実施可能とするため、1年目の事業費に占める地方負担相当額を**財政融資資金**から借入

<事業内容>

区分	施設整備補修(現行事業)	防災減災機能等強化対策(創設)
事業内容	・施設の機能保持、耐用年数の確保のために必要な修繕・補修（電気・機械設備の分解組立、塗装、浚渫等）	・防災・減災（ため池、排水施設等の整備） ・省エネ化・再エネ利用（用排水機、小水力発電施設等の整備） ・省力化（遠隔監視・制御機器等の整備）
事業費	・200万円以上	・100万円以上
事業実施主体	・土地改良区（地区面積300ha以上等） ・市町村	・土地改良区 ・市町村 ・水利組合等
資金造成	・地方拠出金で造成（5年1期）	・地方拠出金で造成 ・借入金※を地方拠出金で償還 ※1年目の事業費に占める地方負担相当額
国庫補助率	・事業費の30%	・事業費の50%

土地改良区役職員のみなさまへ

貸借対照表の作成・公表が、**令和4年事業年度より**義務化されるようになりますが、改めて取り組むべき項目をまとめましたので、再度ご確認をしていただくとともに、作成の準備をお願いします。

貸借対照表の作成について（スケジュール例）

<複式簿記会計を導入し作成する場合>

年度	月	総(代)会	理事会・監事会	その他事務局等	科目
R3			R4年度予算承認 規約、会計細則決定 (原則特別会計廃止)	固定資産の把握 特別会計の見直し 勘定科目の決定 R4年度予算書作成 規約、会計細則の 改定案の作成	単式→複式 複式 複式
	3	R2年度決算承認 R4年度予算承認 規約、会計細則決定 (原則特別会計廃止)		開始貸借対照表の作成	単式 複式 単式→複式
R4	4			R3年度決算書作成 R4.4.1～日々仕訳	単式 複式
	7		R3年度決算監査 R3年度決算承認		単式
	2		R5年度予算承認		複式
	3	R3年度決算承認 R5年度予算承認			単式 複式
				R4年度貸借対照表作成	複式
R5	4			R4年度決算書作成 R5.4.1～日々仕訳	複式
	7		R4年度決算監査 R4年度決算承認 (貸借対照表を含む)		複式
	8			R4年度貸借対照表 早期公表	複式
	2		R6年度予算承認		複式
	3	R4年度決算承認 R4年度貸借対照表 R6年度予算承認			複式 R5年度貸借対照表作成

※貸借対照表は決算関係書類に含まれるが、貸借対照表に係る事項について明確にするため決算書とは別に記載している。

※理事会・監事会等の日程は一般的な目安であり、それぞれの土地改良区による。

※太線囲みは、法改正対応の期限として示されているものである。

R4事業年度から貸借対照表を作成し、R5年度通常総会までに組合員への早期公表を行うこと。

技術力向上のため資格取得の取り組み

本会職員の技術力向上を目指して資格取得に積極的に取り組み、以下の者が資格を取得しました。

土地改良換地士 事業課 技師 今西 史夏（令和3年12月）

土地改良事業の会計に関する相談は、水土里ネット高知へ

高知県土地改良事業団体連合会では、土地改良事業に関する相談及び助言、指導や複式簿記会計への移行・導入及び決算書類等の作成に関する相談業務を毎月第一月曜日に土地改良会館にて行っています。お気軽にご相談下さい。

相談業務：毎月第一月曜日（休日の場合は翌日）
土地改良会館 3F 会議室
※緊急の場合は、開設日以外でも随時行っています。

mail : mizututi@mnet-kochi.jp



職員募集中

高知県土地改良事業団体連合会の正規職員（土木技術職）を募集しています。
募集要領等は本会のホームページに記載していますが、応募される方には業務内容や採用条件等についてご説明しますので、下記枠内記載の連絡先までお知らせください。

農業農村整備の調査測量設計・換地業務・
農業集落排水事業等土地改良事業のご相談は



水土里ネット高知

高知県土地改良事業団体連合会

〒780-0901 高知市上町2丁目9番12号

TEL 088-823-5576

FAX 088-872-5046

HP <http://www.mnet.kochi.jp/>

幡多支所 〒787-0028 四万十市中村山手通19(幡多総合庁舎内)

TEL 0880-35-3314

FAX 0880-35-3316